

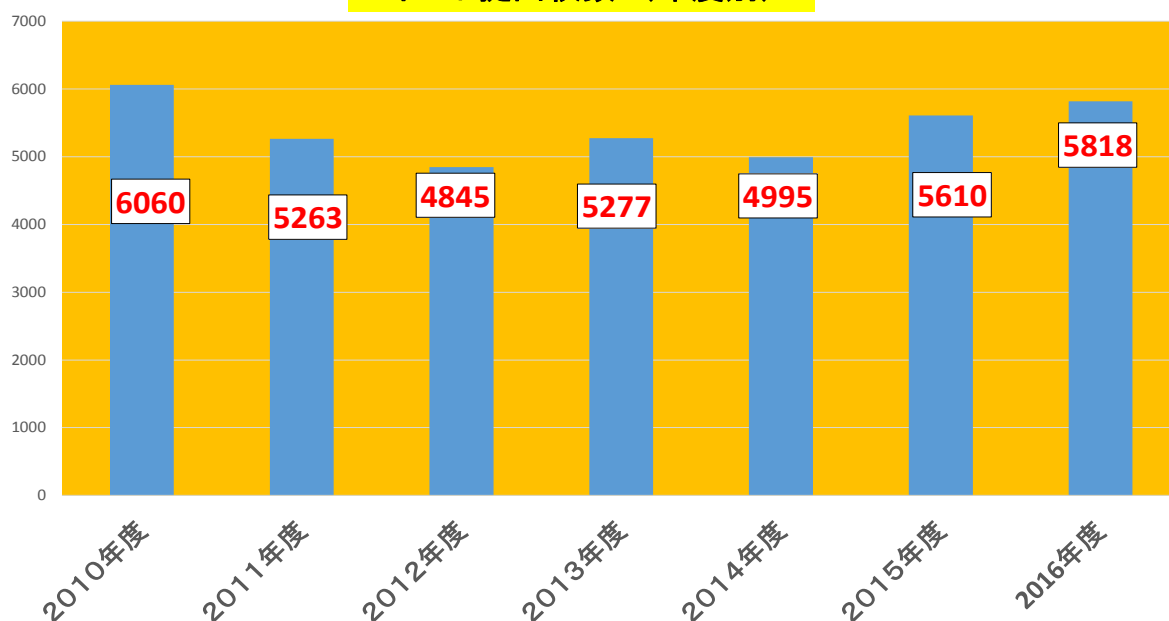
2016年度インシデント／アクシデントレポート関連データ

*インシデント・アクシデント報告基準

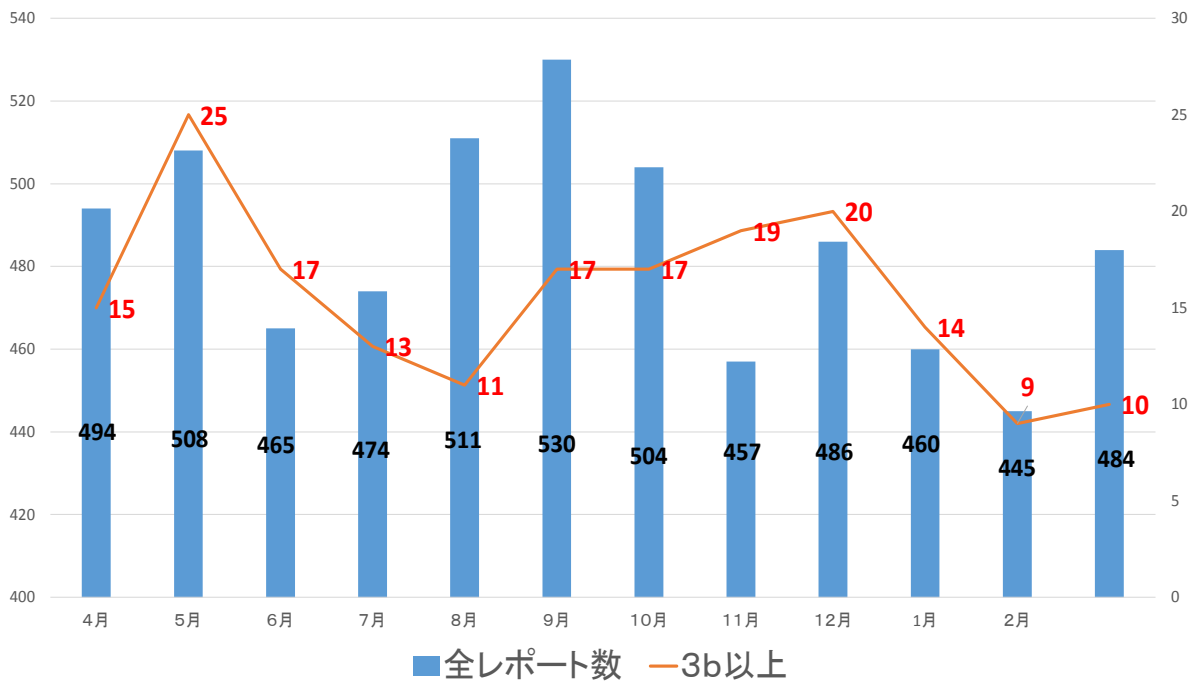
1) インシデント：レベル0～3a 2) アクシデント：レベル3b～レベル5

東海大学医学部付 属病院分類レベル	障害の継続性	障害の程度	障害の内容
レベル0	—	—	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
レベル1	なし	—	患者への実害はなかった(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
レベル2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた)
レベル3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
レベル3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
レベル4a	永続的	軽度～中等度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない
レベル4b	永続的	中等度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
レベル5	死亡	—	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)
レベル9	—	—	対応／マナー不適切・クレーム・院内感染・施設・設備に関するエラー・自己損傷等

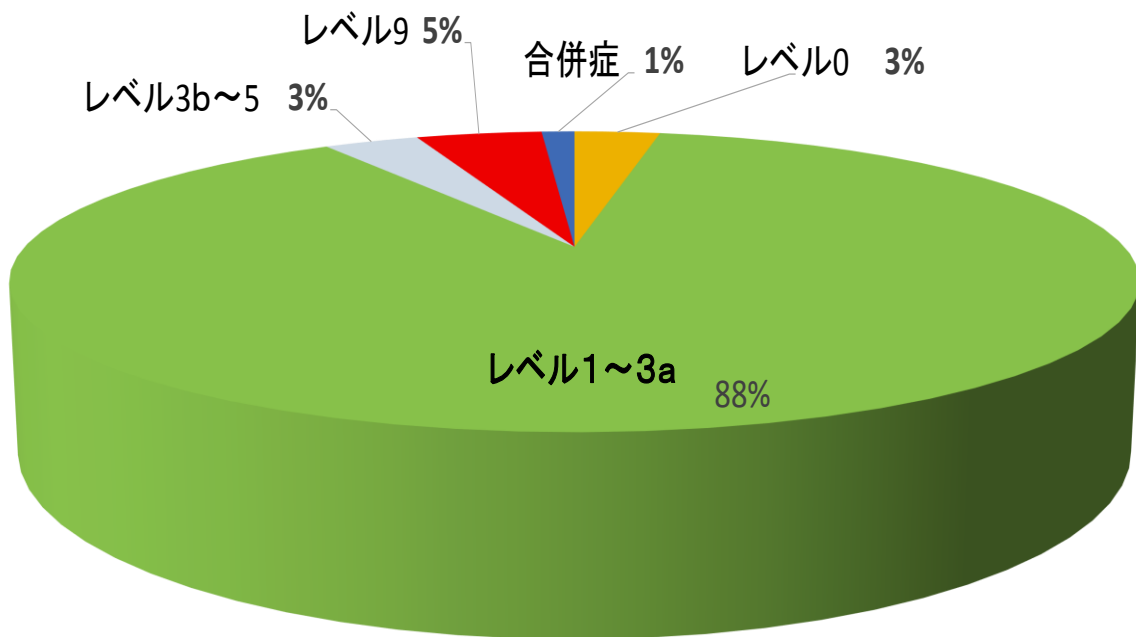
レポート提出枚数（年度別）



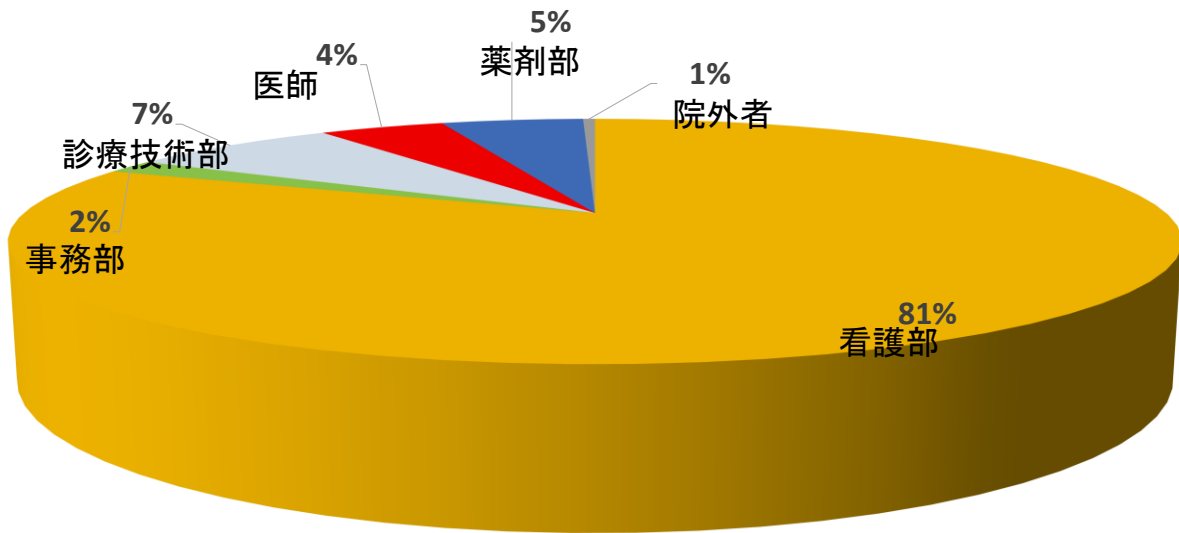
2016年度 月別 レポート提出枚数



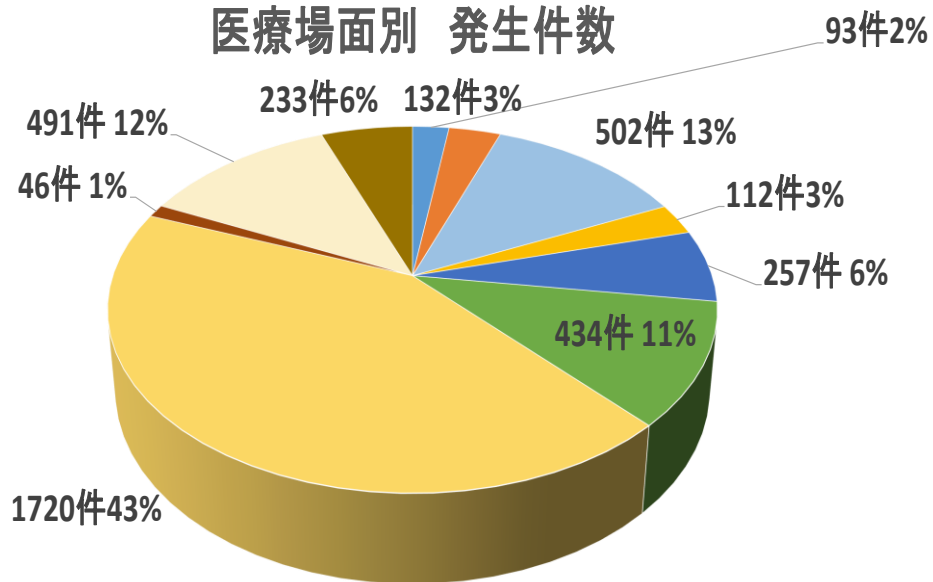
2016年度障害度別 レポート提出



2016年度職種別 レポート提出



医療場面別 発生件数



- CVIに関する項目
- 気道に関連する項目
- ドレーンに関する項目
- 化学療法に関する項目
- 医療機器に関する項目
- 転倒・転落
- 処方・与薬に関する項目
- 予期せぬ症状出現
- 検査に関する項目
- 診療情報に関する項目